

「わが図書館ならではの本！！」

～南薩支部 南九州市立知覧図書館～

今回ご紹介する本は「紙芝居 菜たね 覚兵衛ものがたり」です。

この紙芝居は、世界初の骨粉肥料の発見によって、藩の作物の収穫に大きく貢献した「仲覚兵衛」のお話です。郷土史などを参考にし、20年程前に職員が大型紙芝居を作成しました。

知覧地区には実際に「骨粉水車跡」、「仲覚兵衛生誕の地」の石碑があります。子どもたちが覚兵衛の物語に触れ、将来、石碑のある場所を訪れる機会に、「あの紙芝居の舞台になった場所か」と覚兵衛の功績をより感じてもらえたらと思い、おはなし会などで読み継がれています。特に学校でのおはなし会の後は、子供たちだけではなく教員の方々から、「自分たちの住んでいる地域にこんな人物がいたのだということを知ることができた」という声を聞きます。

「そこにつなぐな はりずなとるな さつま明神丸 つなぎ場所」という、海運業を営んでいた仲覚兵衛家の繁栄をあらわす歌が大阪では流行したそうです。波乱万丈な場面もありますが、覚兵衛の信念をもって仕事に打ち込む姿に、人の役に立ちたいという思いが感じられる紙芝居となっています。

